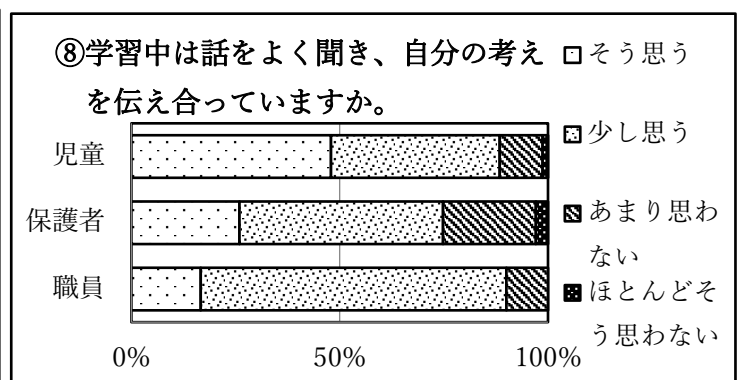
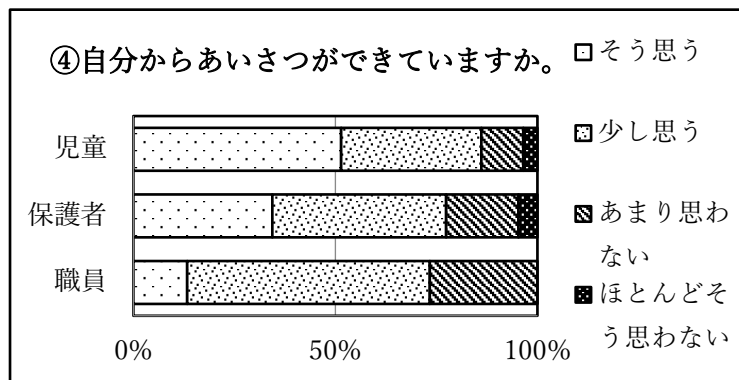
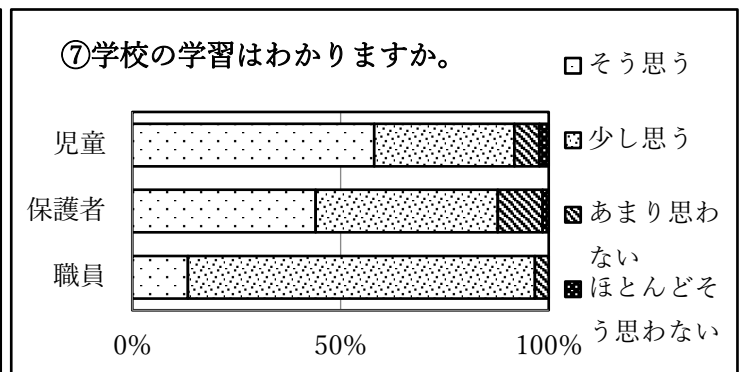
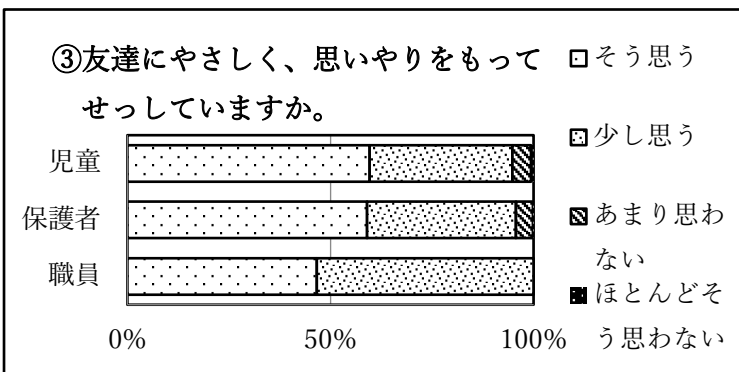
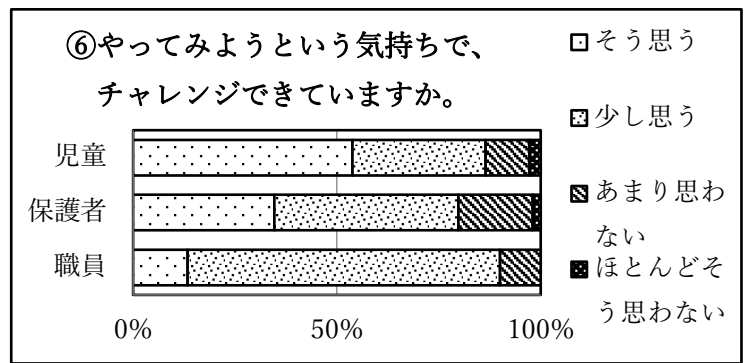
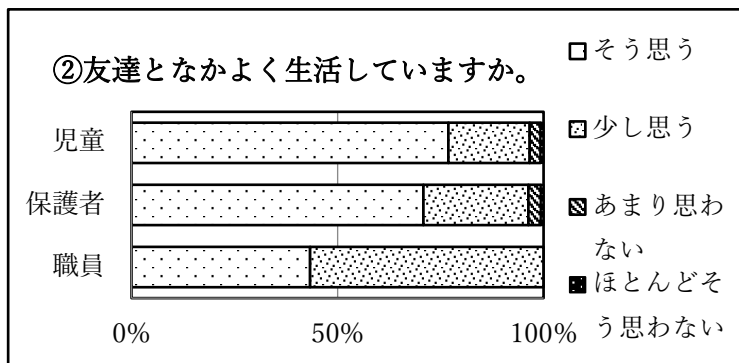
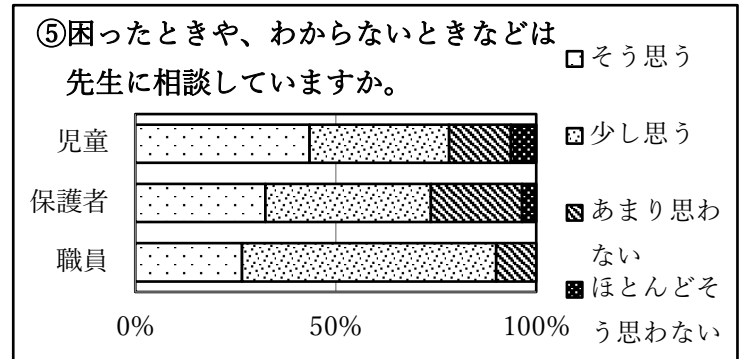
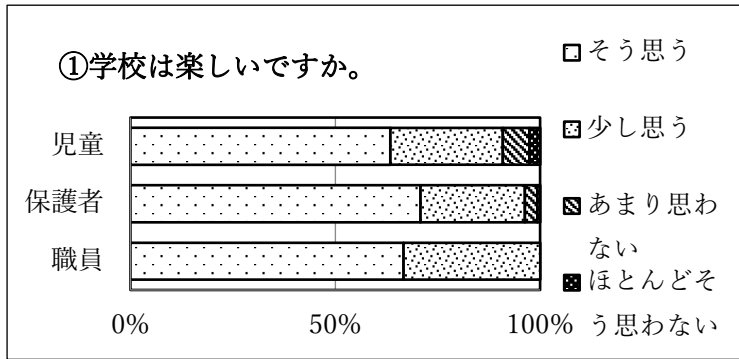
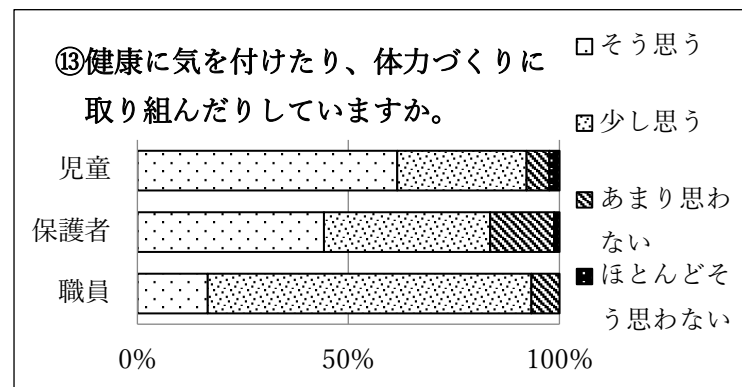
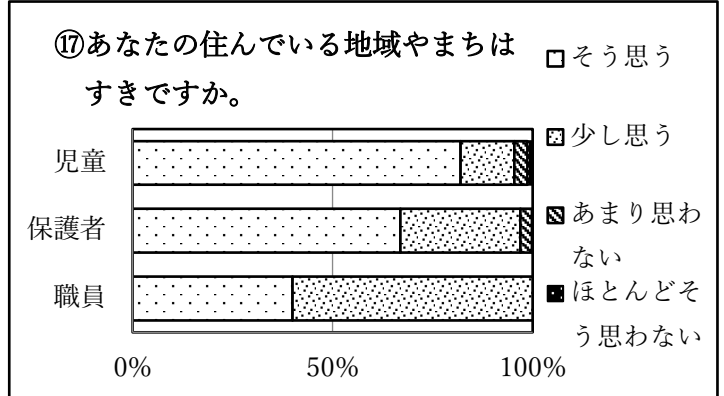
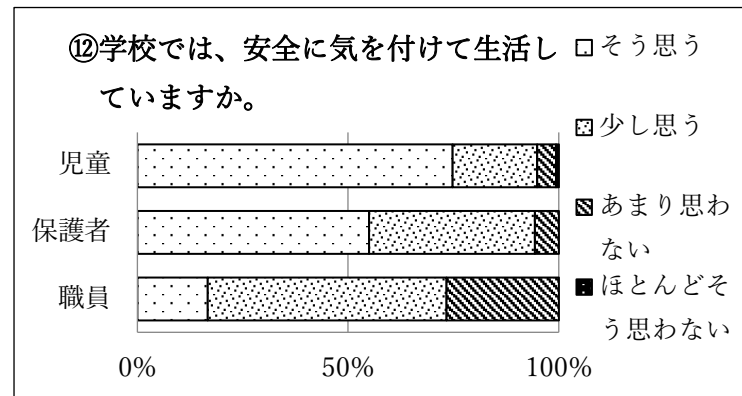
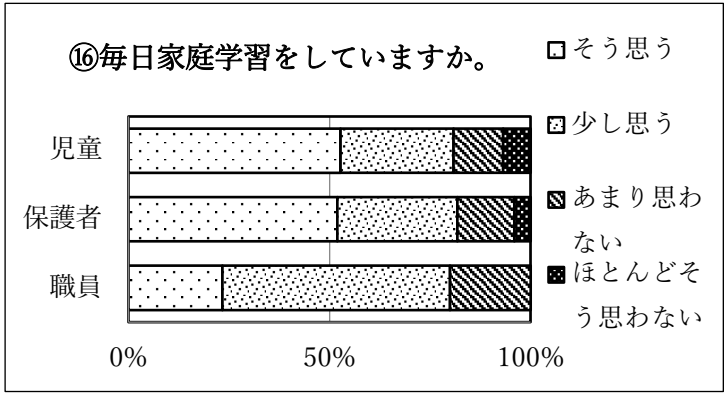
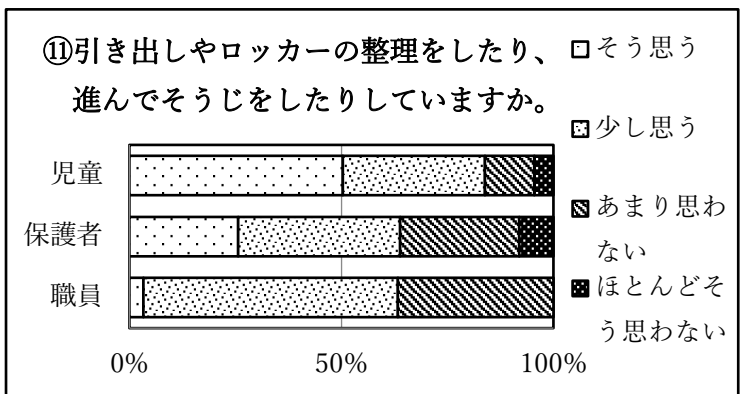
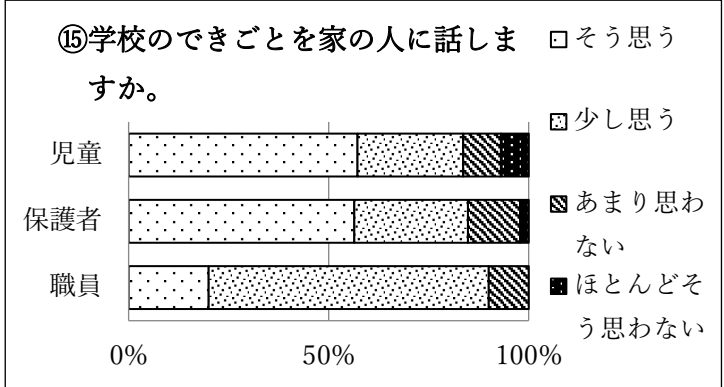
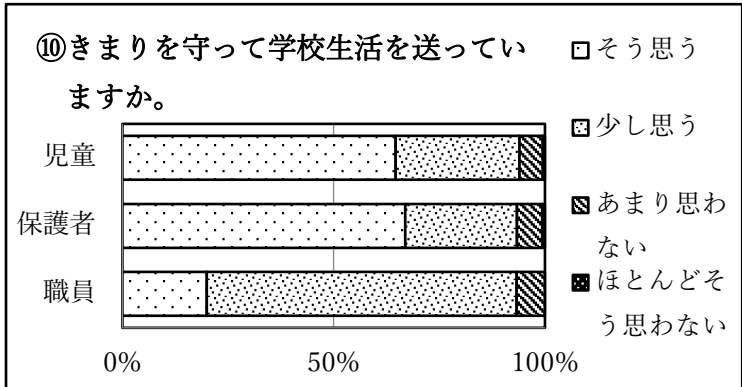
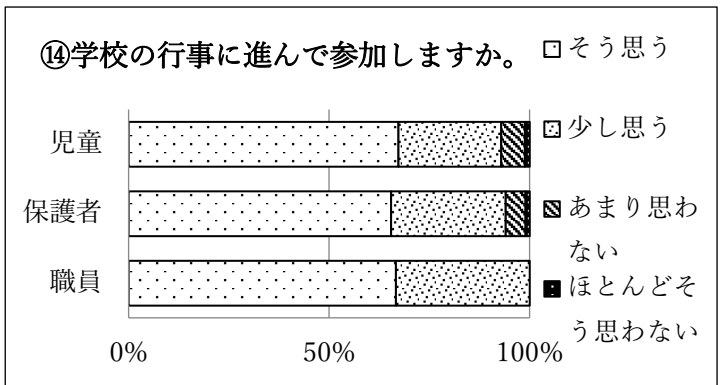
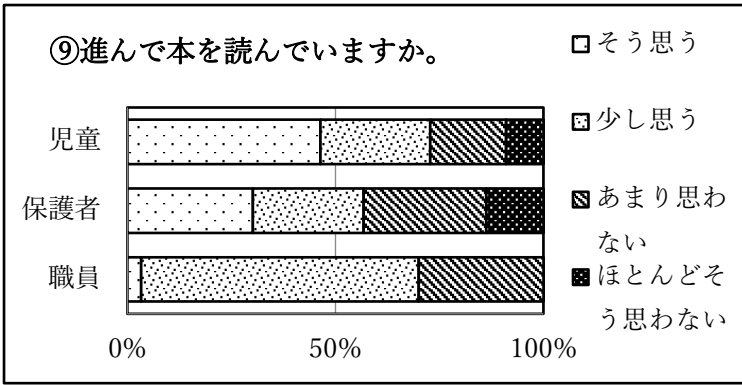


令和5年度 学校評価アンケート調査の結果について

向春の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、過日実施しました学校評価アンケート調査につきまして、学校・家庭連絡間システム「すぐる」でのご回答にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。皆様からご回答いただきました集計結果を以下のとおりご報告いたします。この結果を教職員一同、真摯に受け止め、さらに充実した教育活動を目指して取り組んでまいりたいと存じます。今後ともご支援とご協力の程、よろしく申し上げます。



※裏面もあります。



問い合わせ 北貝塚小学校
 教頭 畠山 英也
 電話 043(232)0467

【自由記述の欄】

<成果>

- ・担任の先生が丁寧に指導してくれているおかげで北貝小と学校生活が好きになった。同様 24
- ・楽しく学校へ通っています。担任の先生がしっかりと見てくれるので毎朝安心して見送ってる。同様 14
- ・学校でのことを楽しく話してくれる。同様 7
- ・50周年でのバルーンリリースやさつまいも収穫、調理実習、たくさんの素敵な体験で充実している。同様 2
- ・わくわくキャンパスを楽しみにしている。

<課題>

- ・クラスに乱暴な子やきまりを守らないお友達がいて嫌な思いをすることが多々あるようだ。同様 2
- ・先生の言い方が怖いと感じる。同様 2
- ・先生の態度や発言により子供が自信をもつことができないことがあった。子供のチャレンジ精神を奪わないようご指導をいただきたい。同様 1
- ・学校帰りの寄り道、急な飛び出しをよく見かけ危険を感じる。同様 1
- ・高学年との関わりの中でいい影響もあったが、下級生と関わる際に気を付けること、クラスで話し合っ
てほしい。
- ・チャイムがならず時間が分からず困っている。
- ・給食の時間が短くよく噛んで味わいながら食べることができない。
- ・アンケートで学校の様子を訊かれても見ているわけではないので難しい。
- ・PTA 役員で学校に伺う機会が多かったが、もう少し学校側の協力がないと負担が大き過ぎると感じる。
- ・環境教育があまりされていない。ポイ捨て等基本的な事を考えたらバルーンリリースという発想にはな
らないと思う。
- ・PTA 次年度以降の役員希望提出時期が 11 月中というのは困った。2 月以降がよかった。

<要望>

- ・子供の個性を伸ばしたり、サポートできるような機会があると嬉しい。同様 1
- ・英語教育に力を入れてほしい。同様 1
- ・授業参観等の機会がもう少しあると嬉しい。同様 1
- ・子供にとって興味をもつような授業、良い環境で生活できるようにと思う。同様 2
- ・アンケートでの名前記入の削除を希望する。
- ・クラスに入れない児童の居場所をつくっていただきたい。同様 1
- ・自分の考えや意見をまとめディスカッションするような教育があるとよい。
- ・登下校の時間がメール等で分かるようにしてほしい。
- ・学校、学年日より大事なものはすぐ配信してほしい。同様 1
- ・ギガタブをもっと活用してほしい。
- ・PTA のあり方を今の時代に合わせて変えていくことが必要だと思う。今回配られた青い用紙の書き方が
半強制的な集い方で提出しづらい。PTA のあり方も今一度考えて頂けるとよい。
- ・土日の宿題が少ないので、出してほしい。勉強する時間を作りやすいため。
- ・学校行事は以前のように全校で短縮せずにやってほしい。
- ・冬場の体力づくりのため、持久走などの機会を取り入れてもらいたい。
- ・昔ながらも取り入れ、現代に合わせた健康や食事の知識のアップデートを教育現場でしてほしい。
- ・投資と資産運用や政治について考え参加したいと思えるようなセミナーをしていただけると嬉しい。

～アンケートへのご協力、ありがとうございました～

「学校が楽しい」「友達と仲良く」で「思う・少し思う」と回答した児童が 9 割を超える等、学校を全体的に見ると児童の満足度がうかがえます。「学習が分かる」ことについては「思う・少し思う」と回答した児童が 92%おり、このことについて、児童自身が感じていることを親や教師も同様に感じている。子供たちが頑張ったと思っていることを大人がきちんと認めている様子が表れています。「先生に相談していますか」では、教師が思っているのと児童や保護者の感じ方に差がありました。学校では「教育相談週間」や学校にいる誰にでも相談できるよと呼びかけて相談の場の設定等、取り組んでまいりましたが、今一度児童の思いへの寄り添い方について考えていく必要があります。また、他の項目に比べ低い数値がみられる「読書」と「整理整頓」については、毎年本校の課題となっています。年間を通じて、図書館指導員の読み聞かせや図書委員会主催のイベント等、校内では積極的に読書活動を推進しており、目に見える大きな成果として表れていませんが今後も根気強く取り組んでいきます。身の回りの整理整頓は担任からの呼びかけと家庭での声かけ等を充実させ、学校と家庭が連携して取り組み、習慣が身に付いていくよう支援していきます。最後の項目の「地域へ愛着」が高い結果となりました。これは創立 50 周年記念事業の取組や地域祭りの新設や復活のおかげです。地域の方々に感謝するとともに、今後も学校との絆を強固にし良好な協力関係を維持していきたいと思えます。

自由記述については、課題・要望を中心に掲載させていただいております。出てきた内容をしっかりと受け止め、改善・再考を踏まえて今後の学校運営に生かしていきます。

これからも児童一人一人に確かな力が付き、安心して登校できる明るい学校づくり、児童・保護者・地域から信頼される学校づくりをめざします。職員一同力を合わせて教育活動を推進してまいりますので、皆様の温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。